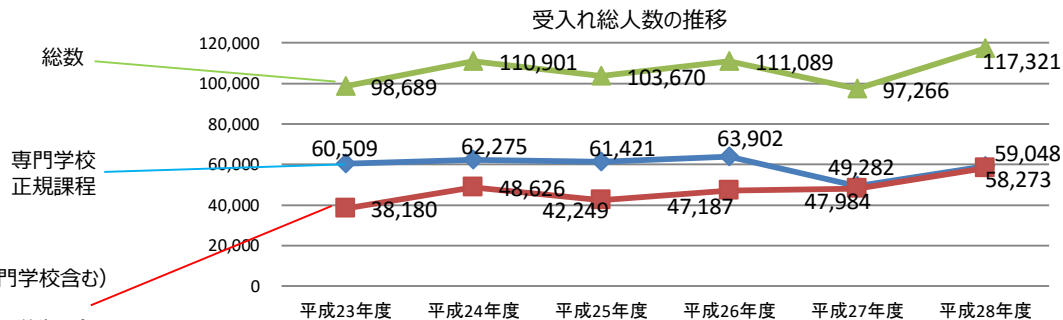


## 社会人受入れの現状

専門学校は社会人学び直しの受け皿として一定の役割を果たしており、社会人受入れ数は全体として増加傾向。



（出典）私立高等学校等実態調査

## 社会人学び直しの課題

＜労働者が考える学び直しの問題点（正社員）＞

- 仕事が忙しくて学び直しの余裕がない（59.3%）
- 費用がかかりすぎる（29.7%）
- 家事・育児が忙しくて学び直しの余裕がない（21.8%）

（出典）平成28年度能力開発基本調査

＜企業が大学等を活用しない理由＞

- 大学等を活用する発想がそもそもなかったため（37.2%）
- 大学等でどのようなプログラムを提供しているか分からないため（30.7%）

- 他の機関に比べて教育内容が実践的ではなく現在の業務に生かせないため（27.6%）
- 他の機関の方が業務分野に関する最先端の技術を学ぶことができるため（13.2%）

（出典）平成27年度社会人の大学等における学び直しの実態把握に関する調査研究

時間的・経済的  
コスト軽減

短期プログラムに対象を限定

社会人向け  
プログラム可視化

既存の大臣認定制度の仕組みを活用

実践的教育  
プログラム

## 「これからの専修学校教育の振興のあり方について（報告）」（平成29年3月）

専門学校は、社会人の学び直しの機会を積極的に提供していくことが期待されている。学び直し機会の創出に向けた工夫の支援とともに、**専門学校による社会人等向け短期プログラムを文部科学大臣が認定する制度の創設が重要。**

# 「専門学校による社会人向け短期プログラム」認定制度について（案）

## 新たな大臣認定制度のイメージ

教育内容の実践性を担保する仕組みとして主に職業実践専門課程の要件を、社会人向けプログラムを可視化する仕組みとして職業実践力育成プログラムの要件をそれぞれ援用し、より実践的な社会人向け講座の質の確保に組織的に取り組む専門学校が提供する短期プログラムを文部科学大臣が認定する仕組みを構築する。

### 新たな大臣認定制度

専門学校

- 専門学校の修業年限が2年未満の正規課程及び履修証明プログラム

時間的・経済的  
コスト軽減



実践的教育  
プログラム



社会人向け  
プログラム可視化

### 援用する既存の大臣認定制度

専門学校

#### 【職業実践専門課程】

- 専門学校の修業年限が2年以上の正規課程

- 企業等と連携体制を確保し、授業科目等教育課程を編成（教育課程編成委員会）
- 企業等と連携して、教員に対し、実務に関する研修を実施
- 企業等と連携して、学校関係者評価と情報公開を実施（学校関係者評価委員会）

- 企業等と連携して、演習・実習等を実施

大学

#### 【専門実践力育成プログラム（BP）】

- 大学等の正規課程及び履修証明プログラム

- 総授業時数の一定以上（5割以上目安）が企業連携等実践的な授業

- 教育課程の編成及び自己点検・評価において、組織的に関連分野の企業等の意見を取り入れる仕組みを構築
- 自己点検・評価を実施、結果を公表


- 対象の職業及び修得可能な能力を具体的かつ明確に設定し、公表
- 修了要件・成績評価・修了者の効果検証の実施
- 社会人が受講しやすい工夫の整備

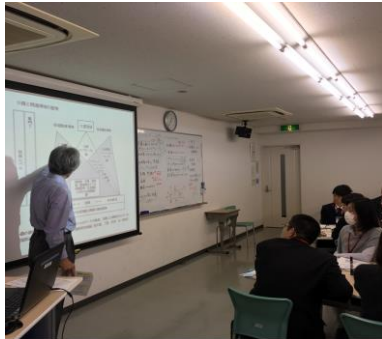
# 「専門学校による社会人向け短期プログラム」認定制度について（案）

## 認定対象講座イメージ(例)

### 正規課程 【ITライセンス科】

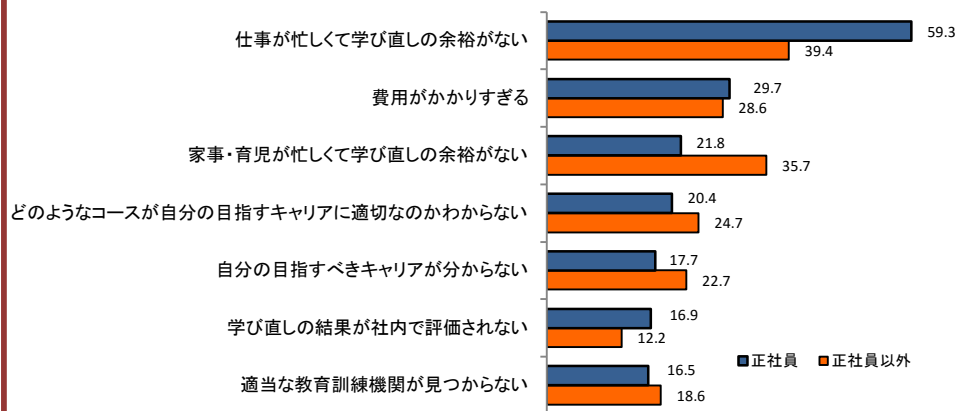
### 附帯事業 【介護人材アドバンスレベルプログラム】

養成する人材	どのような業界、職種にも活用されるITスキルを身に付け、ITエンジニアとしてのスキルアップだけでなく、幅広い業界において経営課題解決やビジネスの改革を推進できる人材。
主な対象者	大学・短大・専門学校卒業者、社会人
期間	1年間（約1,000時間）
講座内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○IT系国家資格取得対策、ベンダー系資格取得対策</li> <li>○IT基礎スキル習得</li> <li>○課題解決型アプリケーション開発企画</li> <li>○プログラミング実習・アプリケーション開発実習</li> <li>○産学連携によるアイデアソン、ハッカソン</li> <li>○ビジネス基本スキル</li> <li>○プレゼンテーション技法</li> </ul> 

養成する人材	専門的な知識・技術を活用しながら、自律的な判断力を備え、組織におけるケアの質を向上させるために、日々の業務改善や課題解決、部下の育成を主導し、結果に責任を負う介護人材。
主な対象者	業務従事経験3～5年以上の介護職員 あるいは現場のリーダー職にある介護職員
期間	30日間（200時間）
講座内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○介護の基礎理論</li> <li>○地域包括ケア</li> <li>○他職種連携</li> <li>○介護過程</li> <li>○組織・人材マネジメント</li> <li>○サービス品質維持・向上</li> </ul> 

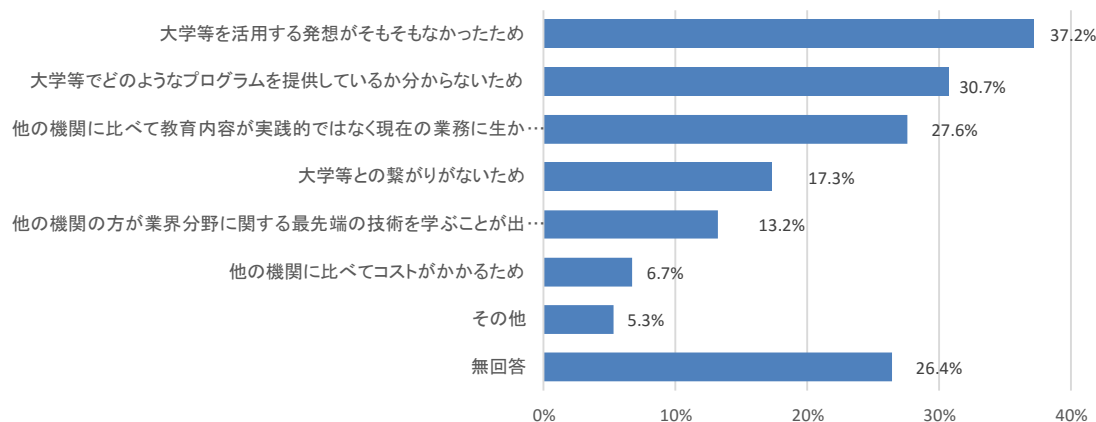
# 「専門学校による社会人向け短期プログラム」認定制度について（参考データ）

## ＜労働者が考える学び直しの問題点＞



(出典) 平成28年度能力開発基本調査

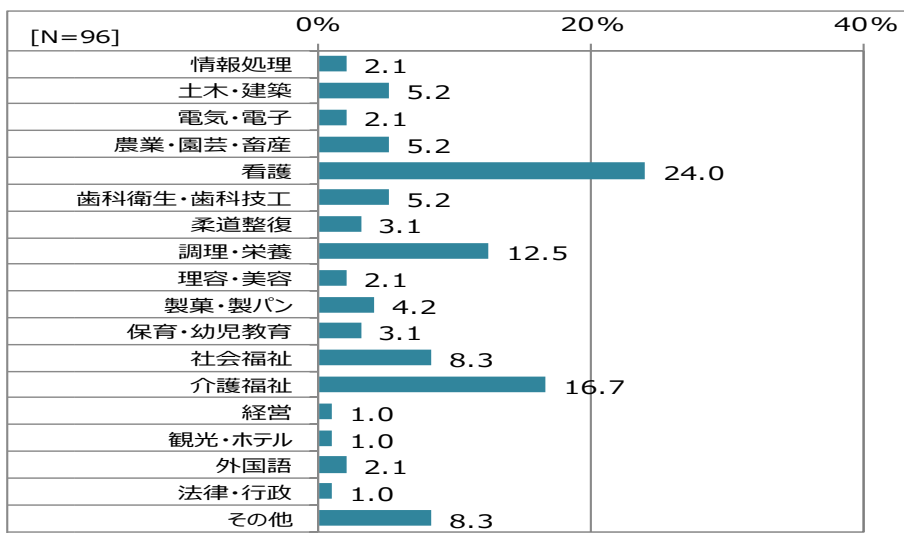
## ＜企業が大学等を活用しない理由＞



(出典) 平成27年度社会人の大学等における学び直しの実態把握に関する調査研究

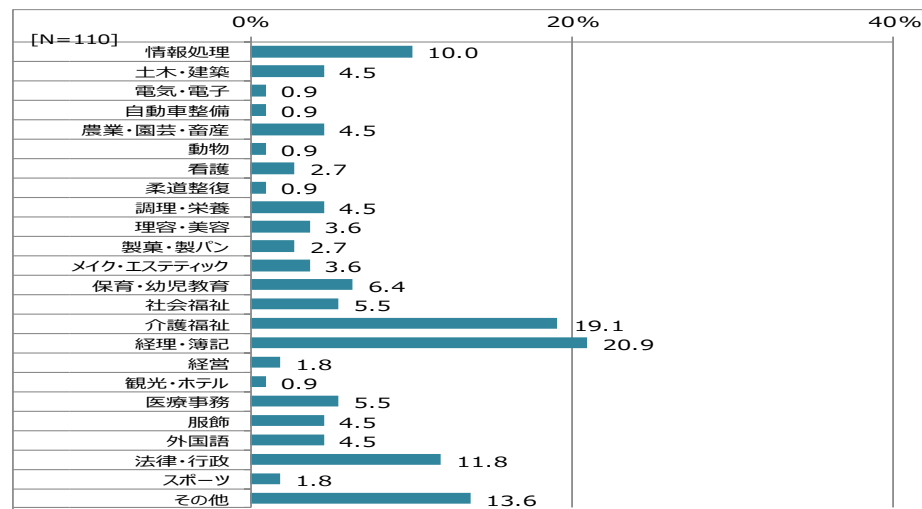
## ＜1年以上2年未満の正規課程における教育分野＞

(社会人受講者数2割以上)



## ＜2年未満の附帯事業における教育分野＞

(委託訓練等以外の一般向け)



(出典) 平成29年度「職業実践専門課程」の実態等に関する調査研究